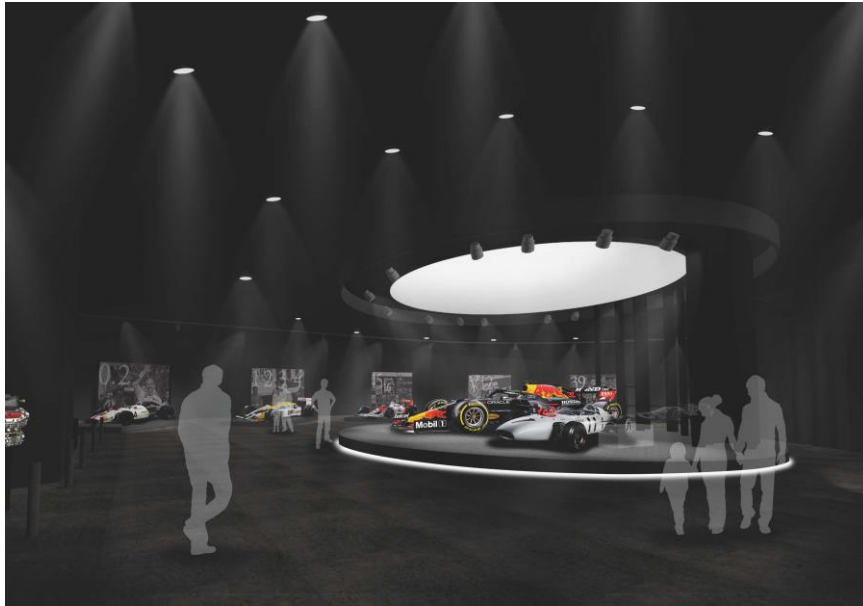


「Honda RACING Gallery」が4/5(金)にオープン

鈴鹿サーキットパーク(三重県鈴鹿市)は、2024年4月5日(金)に「Honda RACING Gallery」をオープンいたします。

2012年7月にオープンした「レーシングシアター」をリニューアルする「Honda RACING Gallery」では、60年前からHondaが挑戦しているモータースポーツの頂点であるFormula 1を中心に、実際のレースを戦った歴代マシンとエンジンおよびパワーユニットの展示を通じて、Hondaの勝利へのこだわりと、勝利をめざして磨きこまれた技術を体感いただけます。

黒を基調とした館内では、展示マシンにスポットライトを当てることで、各時代の最先端技術の詰まったレーシングマシンの機能美を感じていただけます。

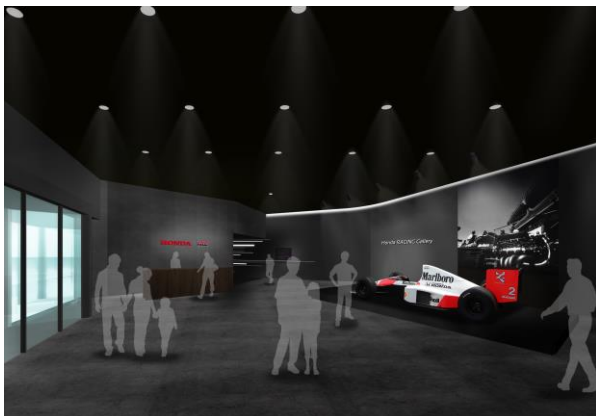


【展示エリア】

■ 常設展示エリア(1階)

メインホール中央には、1965年のメキシコグランプリでHondaのF1初勝利を飾った「Honda RA272」と、2021年にマックス・フェルスタッペン選手がドライバーズチャンピオンを獲得した「Red Bull Racing Honda RB16B」を展示し、これらを通じて過去からのF1マシンの進化を感じていただけます。

また、メインホールの奥には、Honda F1での勝利の象徴となるレースマシン群を展示しており、Hondaの挑戦とその勝利の歴史をご覧ください。その背面パネルには、各マシンを象徴する数字を大きく配置し、その数字を起点に勝利のストーリーを楽しめるような展示としています。また、各時代で世界一を目指し最高峰の舞台で磨き上げ、技術の粋を極めたHondaの歴代のエンジンやパワーユニットもご覧ください。





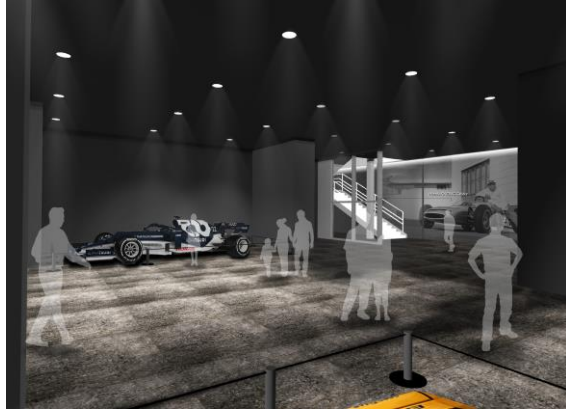
■企画展示エリア(B1階)

企画展示エリアでは、鈴鹿サーキットで開催されるレースにあわせてレーシングマシンを展示する企画展を実施します。初回はF1日本グランプリ開催を記念して、4月5日(金)より「F1日本グランプリ企画展示」を実施します。Hondaと共に戦った日本人F1ドライバーに焦点を当て、歴代のドライバーたちが駆ったF1マシンを中心に、由縁のあるヘルメットなどを展示します。

今後は、SUPER GTや全日本スーパーフォーミュラ選手権、鈴鹿8時間耐久ロードレースなどのレーシングマシンを展示する予定です。

【F1日本グランプリ企画展示】

実施期間：4月5日(金)～6月中旬



■展示一覧

常設展示						
カテゴリー	名称	年	展示エリア			
F1マシン	McLaren Honda MP4/5	1989	エントランス	1階		
	Honda RA272	1965	メインホール			
	Honda RA300	1967				
	Williams Honda FW11B	1987				
	McLaren Honda MP4/4	1988				
	McLaren Honda MP4/6	1991				
	Honda RA106	2006				
	Scuderia AlphaTauri Honda AT01	2020				
	Red Bull Racing Honda RB16B	2021				
F1エンジン	RA168E	1988	メインホール	1階		
	RA109E	1989				
	RA806E	2006				
F1パワーユニット	RA621H	2021	メインホール	1階		
企画展示：F1日本グランプリ企画展示						
F1マシン	Lotus Honda 100T	1988			企画展示エリア	B1階
	SUPER AGURI Honda SA07	2007				
	Scuderia AlphaTauri Honda AT02	2021				

■「Honda RACING Gallery」概要

オープン日：2024年4月5日(金)

料金：無料 ※別途鈴鹿サーキットへの入場料が必要(チケット販売対象レース開催日はレース観戦券が必要)

年齢制限：なし

入場定員：100名/特定日の1階常設展示エリアは30分単位の入替制

※特定日の入館には1階常設展示エリアへの入場には事前予約が必要です。B1階企画展示エリアは常時予約不要です。

※事前予約方法は、鈴鹿サーキット公式ウェブサイトをご確認ください。